

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【公開番号】特開 2018-153427 (P2018-153427A)
 【公開日】平成 30 年 10 月 4 日 (2018.10.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-038
 【出願番号】特願 2017-52590 (P2017-52590)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

杵状の基杵部と前記基杵部の前面側に位置する前杵部とを含む遊技機杵を備える遊技機
において、

前記遊技機杵は、当該遊技機杵の上部を装飾する上部装飾部を備え、
前記上部装飾部は、前記遊技機杵の上縁よりも上方に位置する膨出部を備え、
前記膨出部の後側には、前方に向かって斜め上方に傾斜する傾斜部分が形成されている
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】
請求項 1 に記載の遊技機において、
前記傾斜部分の垂直線に対する傾斜角度は、25 度以上であることを特徴とする遊技機

。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0005
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0005】

ところで上記文献の記載の遊技機では、上部装飾部のインパクトという観点では改善の余地があった。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0006】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものである。すなわちその課題とするところは、上部装飾部のインパクトを強めることが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の遊技機は、

杵状の基杵部と前記基杵部の前面側に位置する前杵部とを含む遊技機杵を備える遊技機において、

前記遊技機杵は、当該遊技機杵の上部を装飾する上部装飾部を備え、

前記上部装飾部は、前記遊技機杵の上縁よりも上方に位置する膨出部を備え、

前記膨出部の後側には、前方に向かって斜め上方に傾斜する傾斜部分が形成されている
ことを特徴とする遊技機である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の遊技機によれば、上部装飾部のインパクトを強めることが可能である。